

「平成 27 年度版 愛知の観光振興施策の実施状況(平成 26 年度年次報告書)」  
 について(概要)

愛知県観光振興基本条例（平成 20 年 10 月 14 日施行）第 9 条第 6 項の規定に基づき、愛知県観光振興基本計画（平成 22 年度～27 年度）に定められた観光振興に関する施策の実施状況について、県議会に報告するとともに、公表を行う。

第 1 愛知の観光の現状

計画期間中の目標として掲げた 5 つの指標の現況は、次表のとおり。

	指 標	目 標 値 (平成 27 年)	計 画 当 初	平成 25 年度 年次報告	現 況
1 観光旅行者の満足度の向上	観光旅行者の満足度 【非常に満足】	25%	16.3% (平成 21 年)	26.3% (平成 25 年)	19.6% (平成 26 年)
2 観光交流人口の拡大	(1)延べ宿泊者数	1,500 万人	1,048 万人 (平成 20 年)	1,238 万人 (平成 25 年)	1,341 万人 (平成 26 年)
	(2)うち東アジア4か国・地域(中、台、韓、香)からの延べ宿泊者数	150 万人	49 万人 (平成 20 年)	57 万人 (平成 25 年)	81 万人 (平成 26 年)
3 観光と地域社会の発展	(1)(経済的効果)観光消費額	1 兆円	5,300 億円 (平成 20 年)	6,667 億円 (平成 25 年)	7,270 億円 (平成 26 年)
	(2)(社会的効果)観光ボランティアガイド数	3,000 人	2,202 人 (平成 20 年 1 月)	2,228 人 (平成 26 年 1 月)	2,020 人 (平成 27 年 1 月)

## 第2 平成26年度における主要な観光振興施策の実施状況（主なもの）

### （1）観光資源の発掘・商品化の支援

県内各地の観光関係団体等から、地域の特色ある観光資源を活用した、ツアー造成やイベント関連の企画を公募し、その中から特に事業効果の高い企画の商品化等を支援した。

### （2）プロモーション活動の強化

官民一体となって、本県の特色である「武将観光」、「産業観光」の推進など、観光キャンペーンを展開するとともに、首都圏において、トッププロモーション活動を実施するなど、内外からの観光客の拡大を図った。

また、「なごやめしPR懇談会」を名古屋市と共同で立ち上げ、なごやめしブランドを戦略的にPRしていくための手法について情報交換を行うとともに、首都圏において食と観光をテーマとした観光物産展を行うなど、「食」の情報発信に取り組んだ。

海外からの誘客促進に関しては、タイにおいて現地旅行会社を対象とした観光説明会・商談会等のトッププロモーション活動を実施したほか、台湾の訪日旅行取扱旅行会社等の招請を通じ、本県を含んだ旅行商品の造成を働きかけた。

### （3）観光客の受入体制の充実

「おもてなし愛知県民会議」を開催し、県全体で、おもてなしの機運の醸成を図った。（開催日：2月9日、参加団体：行政、観光関係団体、観光事業者、商工団体、地域住民団体 67団体）

・「外国人観光客の受入体制整備」をテーマとした情報交換

### （4）広域観光の推進のための連携強化

「中部広域観光推進協議会」（中部9県、名古屋、静岡、浜松の3市のほか、観光関係団体等で構成）や「東海地区外国人観光客誘致促進協議会」（愛知、静岡、岐阜、三重の4県、名古屋、静岡、浜松の3市のほか、観光関係団体等で構成）を通じて、観光展への出展、観光セミナー、商談会の開催など、国内外でのプロモーション活動を実施した。

### （5）MICE（イベント、コンベンション等）の戦略的な誘致

MICE誘致推進のため、国の実施する「MICEマーケティング戦略高度化事業」に名古屋市とともに参加し、専門家によるコンサルティングを受けるとともに、県内のMICE関係者で構成される協議会の設立を準備した。

また、「ESDに関するユネスコ世界会議」及び「技能五輪・アビリンピックあいち大会2014」の開催の他、「ゆるキャラ®グランプリ2014inあいちセントレア」や県内大規模スポーツイベントの開催支援を行ったほか、「ラグビーワールドカップ2019日本大会」及び「FIFAフットサルワールドカップ2020」の招致活動を行った。

※「MICE」とは、企業などが行う会議(Meeting)、企業が行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の総称。